

2026 年 2 月 2 日
日本銀行佐賀事務所
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Saga Office / Fukuoka Branch

佐賀県の金融経済概況

(2026 年冬)

当資料は当事務所ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/saga/>
<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行佐賀事務所 Tel : 0952-23-8165

1. 総論

○ 佐賀県の景気は、横ばい圏内の動きとなっている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、底堅く推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。設備投資は、高水準ながら減少している。

こうした中で、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、改善している。

先行きについては、各国の通商政策等の動きやその影響を受けた海外の経済・物価動向、コスト高とその波及、労働需給と雇用者の所得形成などが、当地の経済・金融情勢に与える影響に留意する必要がある。

< 景気判断の前回との比較 >

項目		基調判断	
		前回(2025 年秋)	今回(2026 年冬)
景 気 全 体		横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
需 要 項 目	個 人 消 費	物価上昇などの影響を受けつつも、底堅く推移している。	物価上昇などの影響を受けつつも、底堅く推移している。
	住 宅 投 資	弱含んでいる。	弱めの動きとなっている。
	公 共 投 資	増加している。	増加している。
	設 備 投 資	高水準ながら減少している。	高水準ながら減少している。
生 産		下げ止まっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
雇 用 ・ 所 得		改善している。	改善している。

2. 個人消費

- 個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、底堅く推移している。

▽個人消費関連の動向

非 耐 久 消 費 財	百貨店・スーパー売上高	底堅く推移している。
	コンビニエンスストア売上高	底堅く推移している。
耐 久 消 費 財	家電販売	横ばい圏内の動きとなっている。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	持ち直しの動きが一服している。
サ ー ビ ス	旅行・観光	緩やかに増加している。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、弱めの動きとなっている。
10～12月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、増加している。
10～12月の公共工事請負金額は、前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、高水準ながら減少している。
法人企業景気予測調査(2025年10～12月期調査)における2025年度の設備投資は、前年度を下回る計画となっている。

6. 生産

- 生産(鉱工業生産)は、横ばい圏内の動きとなっている。

▽主要業種の生産動向

食 料 品	弱含んでいる。
化 学	振れを伴いつつも緩やかに持ち直している。
電 気 機 械	振れを伴いつつも緩やかに持ち直している。
電子部品・デバイス	横ばい圏内の動きとなっている。

7. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、改善している。

労働需給をみると、12月の有効求人倍率は、前月を上回った。

11月の雇用者所得総額¹は、現金給与総額と常用労働者数の増加により前年を上回った。

8. 物価

- 12月の消費者物価(佐賀市、生鮮食品を除く総合)は、前年比+3.1%となった。

9. 金融²

- 12月の預金残高をみると、前年を上回った。

- 12月の貸出残高をみると、前年を上回った。

- 企業倒産は、低水準ながら増加している。

10～12月の企業倒産をみると、件数は前年を上回ったものの、負債総額は前年を下回った。

以 上

1 雇用者所得総額は、「常用労働者数×一人当たり現金給与総額(名目)＜ともに事業所規模5人以上＞」で算出。

2 預金・貸出残高の前年比は、国内銀行(ゆうちょ銀行等を除く)の佐賀県内にある店舗の残高合計から算出。残高合計については、日本銀行福岡支店 HP「県別預金貸出金残高統計」参照。